

「琉球大学地域貢献フェア 2019 (仮称)」 出展募集要項

1. 開催目的

本学のビジョン「地域とともに豊かな未来社会をデザインする大学」の実現に向け、本学が取り組む教育・研究・診療の成果を広く地域社会へと開示するとともに、それを通じた地域社会とのコミュニケーションの場を創出することで、さまざまな次元における新たな地域貢献活動を創造する機会とする¹。

2. 基本方針

地域とともに豊かな未来社会をデザインするため、本学の地域貢献に関する諸活動(教育、研究、医療・診療、等)を地域と共有することで、地域に暮らす人々に、豊かな明るい未来をイメージしてもらえ、場を創出する²。

「豊かな未来社会」のイメージを参加者に感じてもらい、大学と地域や市民との対話の機会とするために、以下の方針で取り組む。

- ① 子どもから高齢者までの一般市民が参加しやすい会場、地域貢献の内容を理解しやすい展示を基本とする。
- ② 地域貢献の展示方法については、ポスターのみを用いた単なる一方向の展示ではなく、参加者が「豊かな未来社会」を体験・体感できる、参加体験型の展示「見て、触れて、感じて、作って、学ぶ」となるよう工夫する(各展示ブースを広く設定)。
- ③ その他、多様な出展を想定するが、本事業の趣旨に沿わない内容がある場合は出展対象としない。

3. 会場・開催日時

奥武山公園・沖縄県立武道館アリーナ棟(沖縄県那覇市奥武山町 52)

2019年3月23日(土曜日)10時～16時

3月22日(金曜日)9時～17時 設営準備

3月23日(土曜日)16時～21時 撤収・後片付け

4. 対象 (30～40 の出展を予定)

地域貢献や地域振興につながる様々な活動(教育、研究、医療・診療、国際・地域連携、産学官連携など)に関して³、本学の教職員個人・活動グループ・組織など多様な単位で応募が可能。

なお、学内公募の他、本学附属図書館、風樹館、学生サークル及び包括連携協定を締結した自治体・民間企業等にも出展協力の相談等を進めているところである。

5. 出展形式

① ブース形式(11:30～16:00)

1つのブースで実演・実験・講義などを対象者 5～20 人程度に対し行う(次頁「図1」参照)。なお、各ブースのプログラム構成は出展者が自由に構成する。

② セッション形式(1枠 30・60・90 分)

会場内のサブステージやワークショップコーナーで、講演やワークショップ等を行う。

・サブステージ:25 人程度のスクール形式で講演・講座、セミナー、パネルディスカッション等を行う。

・ワークショップコーナー:テーブルを島型に分け(20～30 人)、対象者とワークショップや工作等を行う(次頁「図2」参照)。

※1回当りの対象者数が少ない場合は、「①ブース形式」として出展も可能。

③ パネル展示形式

ポスターパネルを会場内の休憩場所等に集め、展示を行う。

④ その他

※会場周辺(屋外)も使用可能です。武道場外での実演・活動等については、応相談。

6. 運営費

出展に関する運搬費(大型トラック借用)、ブース設置、電気工事、広報、体験キット、ポスター印刷等の消耗品、イベント保険などに係る経費は地域連携推進機構が負担する。

なお、学生配置に係る学生の雇い上げは要相談とする。

7. スケジュール (概略)

平成 30 年 12 月 6 日(木)～	学内公募開始(14 日間)
10 日(月)	公募説明会①(12:00～12:40 法文新棟 112 教室)
11 日(火)	公募説明会②(12:00～12:40 医学部基礎講義棟 101 教室)
12 日(水)	公募説明会③(12:00～12:40 工学部 1 号館 221 教室)
～19 日(水)	応募締め切り(メールにて 17 時まで)
21 日(金)	出展者決定(メール通知・出展申請書送付)
平成 31 年 1 月上旬	出展者全体説明会の開催 出展内容・タイトル・備品等の確定(個別調整あり)
1 月下旬	ポスター・チラシ完成(出展個別広報開始)
3 月 22 日(金)	会場への搬入・ブース等作成、リハーサル実施
3 月 23 日(土)	<u>琉球大学地域貢献フェア 2019(仮称)開催</u>

8. その他

本事業の評価・P D C A の視点から、来場者に加え出展者にもアンケートを実施する。

【出展形式のイメージ】

図 1 ブース形式

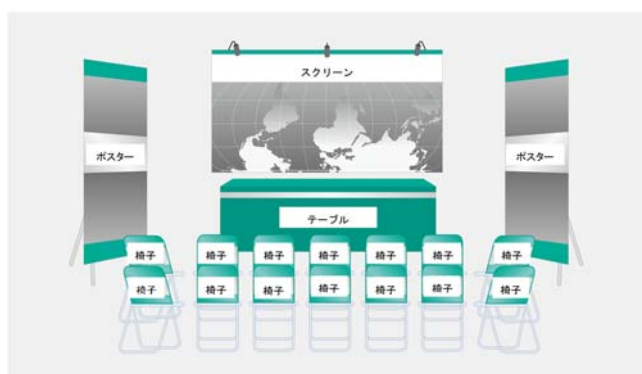
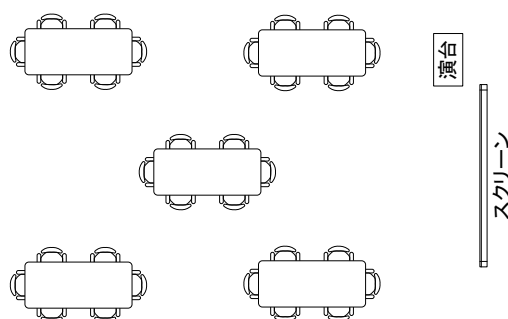


図 2 セッション形式ワークショップコーナー



※基本サイズは横幅 3～5m、奥行 3m、椅子 5～20 脚

- 1 「地域貢献大学としてのブランド確立に向けた地域貢献事業循環型モデルに関する具体的方策等について(最終答申)」地域連携推進機構(平成 30 年 3 月 6 日)
- 2 前掲 1
- 3 前掲 1 では、本学の地域貢献事業群を「Ⅰ. 医療・健康長寿」、「Ⅱ. 地域振興」、「Ⅲ. 次世代育成」、「Ⅳ. 島嶼型先進研究」の 4 つの柱に分類し、それぞれの具体的な事業を計 12 のアクションとして以下のように体系化している。
 - Ⅰ. 医療・健康長寿 ～沖縄の健康・長寿をリードします
 - アクション 1 : 地域医療水準の向上
 - アクション 2 : 健康長寿社会の再生・復活
 - Ⅱ. 地域振興 ～沖縄の地域・産業をサポートします
 - アクション 3 : 農業の振興
 - アクション 4 : 観光産業の振興
 - アクション 5 : IT・エネルギー・工業技術の振興
 - アクション 6 : 地域文化の振興
 - Ⅲ. 次世代育成 ～沖縄の未来をプロデュースします
 - アクション 7 : 島嶼型教育基盤の構築
 - アクション 8 : 次世代育成の基盤整備
 - アクション 9 : 事業創出人材の育成
 - アクション 10 : 地域活性化人材の育成
 - Ⅳ. 島嶼型先進研究 ～沖縄と世界をリンクします
 - アクション 11 : 島嶼・海洋・亜熱帯・健康長寿等の特色ある研究の推進
 - アクション 12 : 国際的な学術交流の機会創出と学術情報・資源の公開・発信